

【奥地森林の実施事例】 左：整備前、右：整備後

＜豊根村＞



手入れが行き届かず過密な人工林を間伐し、健全な森林に誘導。林内が明るくなり、下層植生の導入が期待できる。

＜岡崎市＞



【公道沿いの実施事例】

＜東栄町＞



作業が難しい公道沿いの人工林を間伐し健全な森林に誘導。道路に陽があたり冬場の凍結が減少。見通しも良くなって交通安全にも寄与。

＜設楽町＞



## (2) 成果・波及効果

- この事業により、これまで整備が進まなかった人工林の間伐が進んでいる。  
また、この事業による間伐が県全体の間伐面積の約3割を超え、県内の間伐の推進に大きな役割を担っている。(表3-1-2)

【表 3-1-2 県全体の間伐面積に占める割合】 (ha)

区 分	H21	H22	H23
県全体間伐面積(A)	4,674	5,228	4,718
あいち森と緑づくり事業による間伐面積(B)	753	1,522	1,511
割合(B/A×100)	16%	29%	32%

### ●人工林整備事業地での看板設置

#### <設楽町>



[看板アップ]

#### <東栄町>



この事業は、県民のみなさまからいただいた「あいち森と緑づくり税」を活用しておこなわれています。

PR 効果の高い公道沿いや、団地的に取り組んだ事業地に看板を設置しています。看板には、森林整備に“あいち森と緑づくり税”を活用したことを記載し、事業の周知に努めています。

- 事業の実施に先立ち、森林所有者の立会いの下で、事業実施箇所の境界確認を行う取組により、森林管理を進めるうえで課題であった境界の明確化が進んでいる。  
また、地域によっては森林を取りまとめる組織ができ、将来にわたり地域の森林管理を担うことが期待される。(表3-1-3)

【表 3-1-3 境界明確化の状況】 (筆、ha)

区 分	H21	H22	H23	H24
境界確認筆数	1,197	2,422	3,312	3,444
境界確認面積	540	1,165	1,240	1,272

[資料編:資-1-5]

●人工林整備事業での境界確認 (東栄町の事例)



立会う箇所を相談



境界確認、杭設置



森林所有者全員で現地確認

地域の方々がその地域の森林をまとめ、森林所有者が集まり境界を確認し、杭打を行ないました。

※森林の整備を進めるためには、所有者の確認、同意取得などの取組が必要です。

[資料編:資-1-6]

- 事業実施に伴い発生した間伐材のうち、利用されている量は年々増えている。  
(表3-1-4)

【表 3-1-4 間伐材の利用状況】 (m<sup>3</sup>)

区 分	H21	H22	H23
利用材積	1,467	3,211	5,232

## 2 里山林整備事業

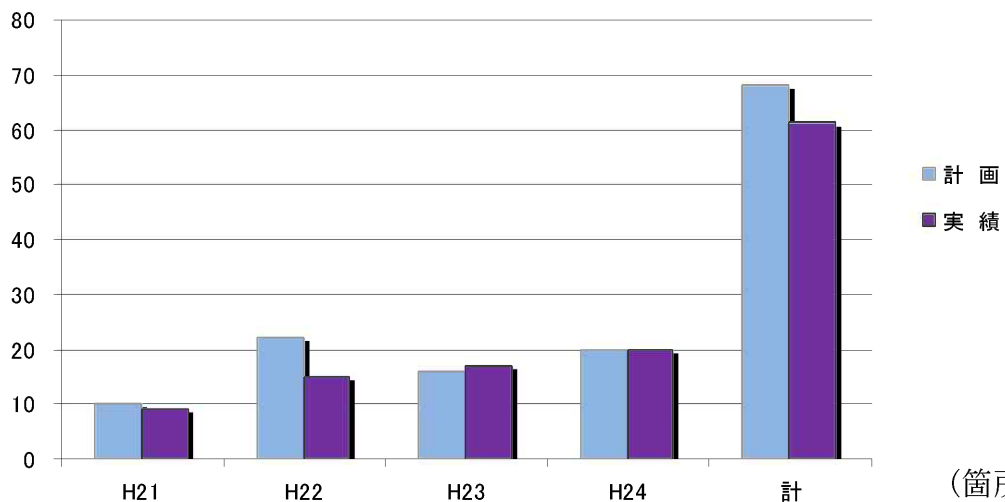
里山林を再生するために簡易防災施設の設置等を含め、県営により整備を実施するほか、市町村が行う地域住民やNPO等との協働による提案型の里山林整備や手入れのされていない里山林の健全化のための整備に対して交付金を交付する。

### (1) 実績

- 平成24年度までの計画68箇所に対して、61箇所の整備を実施。全体計画192箇所に対する進捗率は約32%となっている。
- 市町村の取組を支援する「里山林健全化整備事業」の進捗率が低くなっている。  
(表3-2-1)

#### 【年度別実績及び進捗率】

整備数(箇所)



区分	H21	H22	H23	H24	計	全体計画 <進捗率>
計画	10	22	16	20	68	192
実績	9	15(3)	17(1)	20(5)	61(9)	<31.8%>

※ ( ) は前年度からの継続事業の重複箇所、外数。

#### 【表 3-2-1 事業別整備箇所数及び進捗率】

(箇所)

事業名	全体計画	H21	H22	H23	H24	実績計	進捗率
里山林再生整備事業 (県営事業)	42	2	4	10	5 (3)	21 (3)	50.0%
提案型里山林整備事業 (市町村交付金事業)	30	5	6 (3)	3 (1)	1 (2)	15 (6)	50.0%
里山林健全化整備事業 (市町村交付金事業)	120	2	5	4	14	25	20.8%

※ ( ) は前年度からの継続事業の重複箇所、外数。 [資料編:資-1-7]

【里山林整備事業の実施状況】 左：整備前、右：整備後

＜里山林再生整備事業（豊田市）＞



竹林・森林整備、筋工設置

＜提案型里山林整備事業（岡崎市）＞



歩道、案内板設置

＜里山林健全化整備事業（幸田町）＞



侵入竹林の整備

## 【里山林整備事業地の利活用の状況】

地域住民や活動団体等による継続した整備や利活用が行われている。

<提案型里山林整備事業（豊橋市）>



伐採木をチップ化し歩道に散布

<提案型里山林整備事業（田原市）>



不要木を伐採し歩道を整備

<提案型里山林整備事業（日進市）>



整備後に、里山保全実践講座や親子里山教室のフィールドとして活用

## （２）成果・波及効果

- この事業により里山林の整備が進むとともに、地域やNPOによる継続的な取組につながっている。

特に、提案型里山林整備事業の実施地では、地域や活動団体による保全や活用の取組が継続しており、延べ1万8千人の方が活動に参加している。（表3-2-2）

【表 3-2-2 里山林整備活動の状況】 (団体、日、人)

区分	H22	H23	H24	計
活動団体数	2	10	15	27
活動日数	56	268	716	1,040
延べ参加者数	5,232	6,481	6,950	18,663

[資料編:資-1-8]

- 里山林整備事業に関して、市町村や地区自治会等からの相談件数が増加しており、里山林に対する意識の高まりが感じられる。（表3-2-3）

【表 3-2-3 里山林整備事業関係の相談件数の推移】 (件)

区分	H20	H21	H22	H23	H24	計
相談件数	17	27	24	28	51	147

[資料編:資-1-7]